



第44回ふるさとまつりの感想

11月1日（土）のふるさとまつりは、子供たちにとって思い出に残る素敵な体験となりました。準備や運営にご尽力くださいました保護者・地域の皆様に、改めて感謝申し上げます。前号でお知らせしましたとおり、子供たちの感想をご紹介します。紙面の関係上、抜粋して掲載いたします。

きのうぼくは、しゃてきをやりました。ぼくは、しゃてきがすきになりました。なぜかという
と、いっぱいあてられたのがうれしかったからです。たのしかったから、なんかいもやりました。
1年生 S・Sさん

わたしは、ふるさとまつりをしました。一ばんたのしかったのは、だがしやです。なぜかとい
うと、買ったら、くじができたからです。家に帰ったら、お父さんとお母さんが、「がっそうじ
ょうずだったよ。」と言ってくれました。
3年生のふるさとまつりもたのしみです。
2年生 O・Sさん

3年生は、ぐん読とダンスをしました。
ぐん読は、「わっしょい、わっしょい。」と、元気に大きな声で上手にできてうれしかったです。
ダンスは、みんなでハチマキと黒い服を着て、ソーランをおどりました。ステージのまん中だっ
たけれど、きんちょうしないで、いっしょうけんめいおどることができました。
3年生 I・Aさん

4年生の発表で心にのこったことは、リコーダーでオーラリーを演そうしたことです。
なぜかという、ミとファの音がちゃんと出るか心配だったけれど、きれいな音がでたからで
す。それに、校長先生のアドバイスできれいにふけたのが、うれしかったからです。
来年も、リコーダーで演そうしたいです。
4年生 S・Tさん

学年発表では、今まで一生けん命に練習してきた成果を、ひろうすることができて、よかった
です。
体験コーナーでは、ペットボトルボウリングが楽しかったです。きょ年はあまり当てられなか
ったけど、今年は2回とも、うまく倒せたのがうれしかったです。
5年生 I・Sさん

駄菓子屋をする、と聞いたときは、難しそうで大変そうだと思っていたけど、飾り付けをし
たり、どういう風に駄菓子を置くか話し合っているうちに楽しみになってきました。
当日は、少し忙しかったけど、その分楽しく駄菓子屋ができました。発表では、失敗せずにで
きたし、最後の宣伝ではみんなが笑ってくれて、私も嬉しくなりました。
最後のふるさとまつりが、印象に残る思い出になりました。
6年生 M・Rさん